使用禁止

取付禁止

接触禁止

● 取り付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付け をおこなってください。

● ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他の人々への 危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大 きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定 される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する 重要な内容ですので、必ず守ってください。

/\ 警 告:人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 .人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が 想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

絵表示の例

○ 記号は行為を禁止する内容を告げるものです。 図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁 止)が描かれています。

■ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるもので す。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラ グをコンセントから抜いてください)が描かれています。

● 修理技術者以外の人は、絶対に分 解したり修理・改造をしないこと 分解・修理・ 発火・感電したり、異常動作してけがを するおそれがあります

取付説明書

アースを

取り付ける

分解・修理・

埋込禁止

取付注意

取付注意

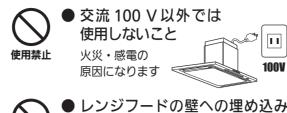
取付注意

取付注意

取付禁止

手袋をする

取付注意



はしないこと 埋込禁止 漏電した場合、発火するおそれがあり アースを確実に取り付けること

> 故障や漏電のときに感電するおそれがあ ります アースの取り付けは販売店にご相談くだ

> > ⚠ 警告

発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります

● レンジフードの壁への埋め込みはしないこと

漏電した場合、発火するおそれがあります

火災などの原因になります

火災などの原因になります

ないよう取り付けること

火災・故障の原因になります

火災・故障の原因になります

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしな

● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令) および消防

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以

● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触し

上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

● 電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けること

<u>/ 注</u> 意

● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること

● レンジフードの取り付けは、十分強度のある

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります

ところを選んで確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります

● 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

漏電した場合、発火するおそれがあります

法などの関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物と の間を 10cm 以上離すか、不燃材料を使 用して可燃物を覆うこと 取付注意 火災などの原因になります

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください 排気工事をされる場合は、建築基準法(同

♠ 警告

施行令)および消防法などの関連法規に 従って法的有資格者が工事をおこなうこと 取付注意 火災などの原因になります

配線工事は電気設備技術基準や内線規程に 従って法的有資格者が工事をおこなうこと 取付注意 誤った配線工事は感電や火災の原因になります

電源は専用コンセントおよびブレーカーを 設けること 火災・故障の原因になります

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または 金属板張りの木造の造営物に金属製ダクト が貫通する場合、金属製ダクトとメタルラ 取付注意 ス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触 しないよう取り付けること

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります ● レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス

網など)と接触しないよう取り付けること 取付注意 漏電した場合、発火するおそれがあります

自然排気型のストーブを使用するときは、 空気の取入口(給気口)により十分給気さ れる配慮をすること 取付注意 排気ガスが室内に逆流し、

おそれがあります

一酸化炭素中毒を起こす

<u></u> 注意

● 浴室など湿気の多い場所 では絶対に使わないこと (浴室用換気扇をお使い ください) 感電および故障の原因になり

● 周囲温度が40℃以上に

ないこと

なるところには取り付け

火災・故障の原因になります

● 運転中は、指や物を絶対

けがをするおそれがあります

に入れないこと

手袋をする 鋼板の切り□や角で けがをするおそれが あります

● レンジフードの取り付けは、 十分強度のあるところを選ん で確実におこなうこと 落下によりけが をするおそれが

あります ● 部品の取り付けは確実におこ なうこと 落下によりけが 取付注意

● 取り扱いの際は、必ず厚手

の手袋をすること

をするおそれが あります ● 作業は2人以上で おこなうこと

レンジフードは約 31kg の重さがあります

取り付け上のお願い

● 下記は「建設工事」に区分され、関連する 法令、規定に従って法的有資格者がおこな う必要があります。

・大工工事【設置のための下地工事等】 ・配線工事【コンセントの設置、コンセン ト・コネクター利用以外の配線接続等】 ・管工事【ダクト配管およびレンジフード からのダクト接続等】

流通業者(販売店)を通して組立・設置す る場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・ 設置」を区別しておこなってください。

- ダクトの不燃処理について ・ダクトを 50mm 以上の不燃材料、また は 20mm 以上の国土交通大臣不燃認定 品の不燃材料で被覆してください。 ・施工要領は、各メーカーの「標準施工要
- ください。 ● 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のも のをご使用ください。 調理機器はレンジフードの前面より手前に はみ出して設置しないでください。排気効

領技術指導書」・「検査要領書」に従って

- 率が低下します。 ● 建物が密閉されている場合は必ず、約 400cm²程度の空気取入口を設けてくださ
- 屋外壁面の排気出口に取り付けるベント キャップまたはパイプフードの通気抵抗は 400m³/h 時 50Pa 以下のものをご使用く
- 防虫網付きのものは目詰まりして排気性能 が低下する場合がありますので使用しない でください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは 極端に屈曲したダクトは排気効果をいちじ るしく低下させたり、騒音が大きくなりま すので使用しないでください。

● レンジフードは調理機器 の真上に取り付けてくだ 80㎝以上 なお、レンジフード取付 高さは、レンジフードの

下端が調理機器の真上

80cm 以上になるよう

にしてください。

● レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取 り付けないでください。また、横方向 50cm 以上離して取り付けてください。湯 沸器の真上は高熱になるため故障の原因に なります。

- 部屋の中央で調理される場合は、油煙が捕 集しきれませんので、お台所の全体換気の ために、他の換気扇と併用していただけれ ば、よりすぐれた換気ができます。
- 寒い地域ではダクトが結露し、レンジフ-ド内に結露水が流れる場合がありますの で、断熱材を巻くなどの対応をしてくださ
- ダクトは必ず屋外側に向けて下り勾配を設 けてください(目安: 勾配 1/100~1/50 程度)。雨水の浸入や結露水の逆流の原因 になります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対におや
- 汚れを除去する際は、シンナー等の有機溶 剤を使用しないでください。 塗装面が変色したり、はがれたりすること があります。
- 風量おまかせ運転 (風量自動切替) 機能を 正しくお使いいただくために、別紙に記載の 方法で必ず環境設定をおこなってください。
- レンジフードの排気ダクトは他の排気ダク トと併用しないでください。

取り付け前の調査と準備

取付箇所の強度確認 製品を支える強さが必要です。

製品質量 31kg

- **↑** 天井面への穴あけ(取付詳細図−1) 1) 天井面のレンジフードを取り付ける位 置に間口 300mm×奥行 300mm の
- 開口をあけてください。 2) 開口部周辺を補強桟で補強してくださ
- ※補強桟は、野縁・野縁受け等に固定
- してください。 吊りボルトの取り付け(取付詳細図-2)
- レンジフードの吊りボルト位置に合わせ て、吊りボルトを垂らしてください。 ※吊りボルトは、M10~12を用いてく
- ださい。 ※吊りボルトは製品を支える十分な強さを 確保してください。必要となる強度は、 建物の条件、耐震クラスなどにより異な
- 排気ダクトの取り出し(取付詳細図-2) Φ 150 のスパイラルダクトを、取付詳細
- 図-2の位置に取り出してください。 標準取付寸法

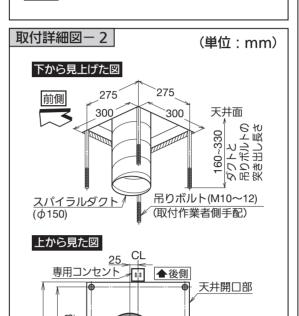
ります。

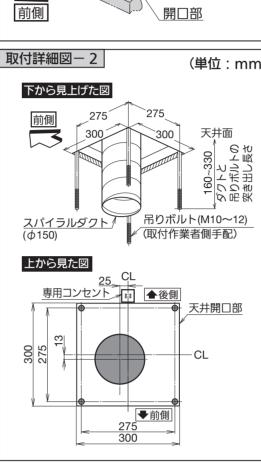
本製品の標準取付寸法は、調理機器上面が らレンジフードの下端まで 80cm 以上です。 ※火災予防条例では、グリスフィルターの 下端が調理機器の真上 80cm 以上必要と なっています。

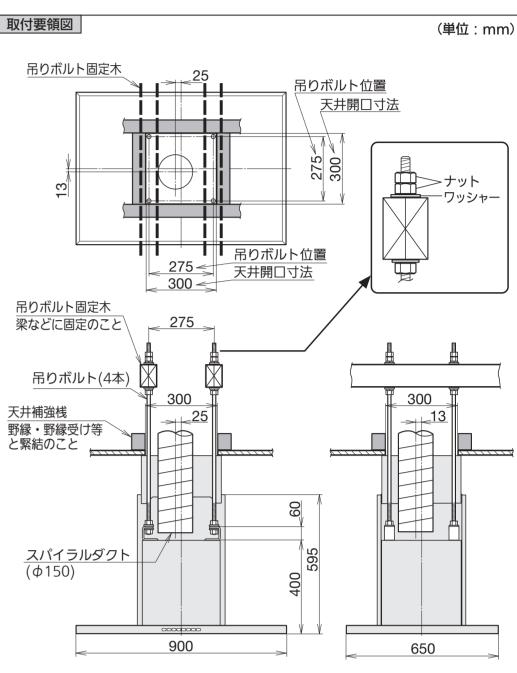
▲ 電源コンセント・ブレーカー 電源コンセント・ブレーカーは専用のもの を設置してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C 8303 2 極差込接続 器 15A 125V をご使用ください。

お願い ・ 必ずアース工事(D 種設置工事)をして ください。レンジフードが誤作動すること があります。

取付詳細図-1 (単位:mm) <u> 奥行方向</u> 300 専用コンセント 天井補強桟 前側 (単位:mm)







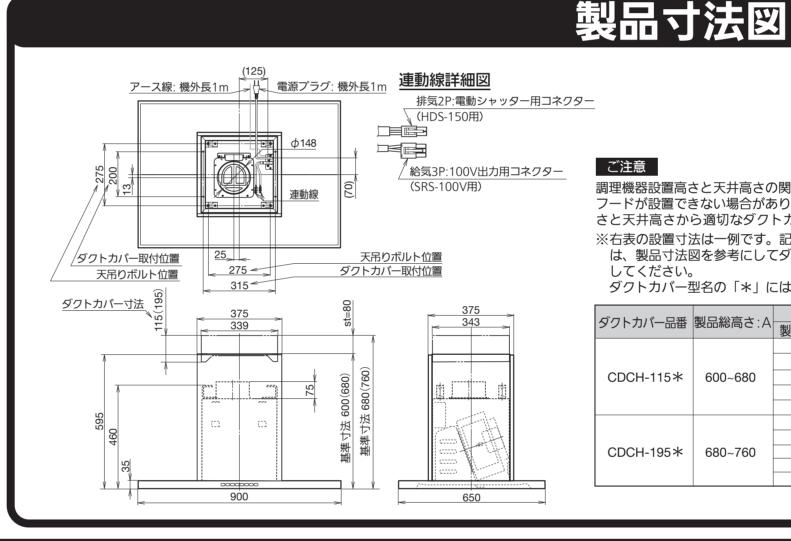
各部のなまえ ダクトカバー -(別売品) 後ふた 前ふた・ リモコン・ 連動信号受信部 スイッチ 温度センサー 煙道枠 オイルパック-ファン ベルマウス モーター



ベルマウス 1個 (煙道にテープで固定されています。) 本体内部に取り付けます。

フード固定金具 1個 フードと本体の固定に使います。

ソフトテープ 1本 排気口とダクトとのすきまを ふさぐのに使います。



ご注意 調理機器設置高さと天井高さの関係により、このレンジ フードが設置できない場合があります。右表の製品取付高 さと天井高さから適切なダクトカバーを選択してください。 ※右表の設置寸法は一例です。記載以外の設置寸法の場合 は、製品寸法図を参考にしてダクトカバーを選定・調整 してください。 ダクトカバー型名の「*」には色記号が入ります。 |ダクトカバー品番 |製品総高さ:A|



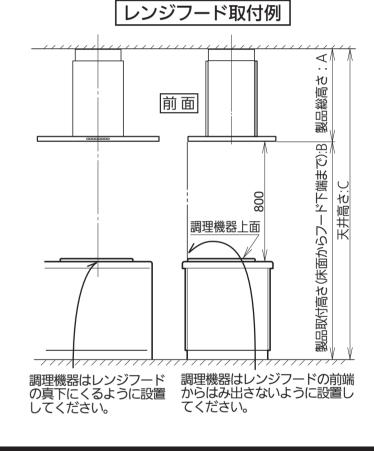


図4-1

天井高さ (例: (例: 1650)

図4-2

前側

(単位:mm)

(単位:mm)

マーカー

調理機器上面

1. 付属品の確認

⚠ 注 意

2.取付準備

▲ 警告

金属板とが電気的に接触しないよう取り付けること

の関連法規に従って法的有資格者が工事をおこなうこと

<u>/ 注</u>意

● 周囲温度が 40℃以上になるところには取り付けないこと

漏電した場合、発火したり感電するおそれがあります

不燃材料を使用して可燃物を覆うこと

詳しくは、所轄の消防署に問い合わせてください

(浴室用換気扇をお使いください)

感電および故障の原因になります

火災・故障の原因になります

● 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に

● 排気工事をされる場合は、建築基準法(同施行令)および消防法など

● レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を 10cm 以上離すか、

金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、

● 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります 手袋をする

● 作業は 2 人以上でおこなうこと 製品は約31kg の重さがあります 取付注意 付属品を確認します。

梱包箱から付属品を取り出し、上項の付属品一覧 により不足がないか確認してください。 発泡ポリエチレンシート・固定テープ・保護用クッ

ション材・保護用フィルム(青色・透明)はキズ、 破損防止のため、「3.フード・本体の準備」まで はずさないでください。

床で作業する場合、本体および床にキズを付け ないため、必ずシートを敷いた上で作業をおこ なってください。 取付作業の際はキズ・破損のないように十分注 意してください。

火災などの原因になります

火災などの原因になります

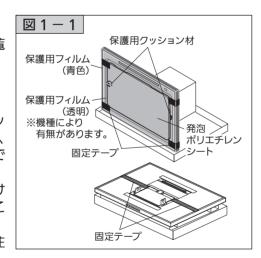
取付注意

取付注意

取付注意

使用禁止

取付禁止



3. フード・本体の準備

図3-4

図3-1

|ストッパーをし

※「製品総高さ」寸法は、「ダクトカバー(別売部

お願い

でなくさないでください。 はずした部品は変形させないよう、平らな場 所に置いてください。また、はずした部品で 床などにキズをつけないようご注意ください。 ・金具の変形防止のため、(図3-1)のよう に必ず天パットの上に仕切パットを載せ、そ の上にフードを置いて作業してください。

■ フードの準備

※発泡ポリエチレンシート・固定テープ・保 図3-2 護用クッション材・保護用フィルム(青色・ 透明)をはずしてください。(図1-1参照) ※保護用フィルム(青色)は、取付作業完 了後に再び使用します。

らはずします。(図3-2) ※必ず左右同時にはずしてください。金 具の変形の原因になります。

1) 固定テープをはがします。

② 煙道枠をはずします。(図3-4) 1) 煙道枠を固定している2ヶ 所のねじをゆるめます(ね じははずれません)。

と持ち上げ、反対側にある 2 ヶ所のツメをはずします。 ※フードを天板が上面になるように置き、

1) 天板前をななめに持ち上げ、ツメ4ヶ 所をはずします。 ※天板を変形させないようご注意く ださい。

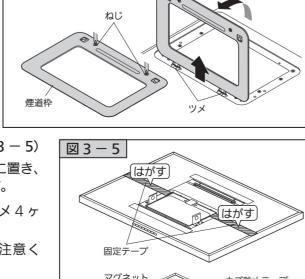
(単位:mm)

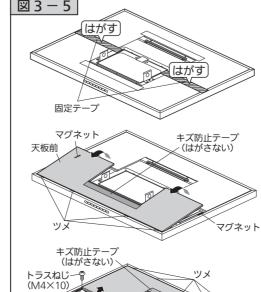
天井開口部

※天板を変形させないようご注意く ださい。 ※取りはずしたねじは「4. 本体の取

お願い 天板に貼ってあるキズ防止テープは取 り付けが完了するまではがさないでく

ださい。

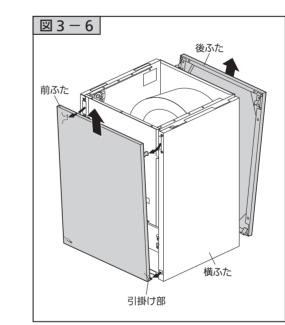




■ 本体の準備

取り付けかた

前ふた・後ふたをはずします。(図3-6) 前ふた・後ふたの上端を手前に引いては ずし、前ふた・後ふたを持ち上げて、下 端の引掛け部を横ふたからはずします。



(はがす)

トラスねじく

(M4×10)

図3-7

固定テープ

図3-8

カバーをはずします。(図3-7) ※両側ともはずしかたは同じです。 1) カバーを固定しているトラスねじ

ます。

2) カバーを手でおさえながら固定テー プをはがし、カバーを矢印方向には ずします。

ふた・後ふた・カバーの取り付け」に

て再度使用しますので、なくさないで

(M4×10) 2本を3mm程度緩め

↑ 横ふたをはずします。(図3-8) 図 3 - 3

仕切パット

整流板引掛け金具

整流板吊り金具

天パット

※両側ともはずしかたは同じです。 横ふたを固定しているトラスねじ(M4 × 10) 12 本をはずし、横ふたをはずし ※取りはずしたねじは「7. 横ふた・前

> ソフトテープを貼り付けます。 (図3-9) 排気口に付属品のソフトテープを貼り 付けます。

> > 取付注意

ください。

横ふた トラスねじ 図3-9

4. 本体の取り付け

<u></u> 注意

● レンジフードの取り付けは、十分強度のあるところ を選んで確実におこなうこと 落下によりけがをするおそれがあります 取付注意

● 部品の取り付けは確実におこなうこと

落下によりけがをするおそれがあります

取付注意 ● 作業は2人以上でおこなうこと レンジフードは約 31kg の重さがあります



レンジフードの固定位置を決めます。 (図 4 - 1)1) 右図を参照し、次式によりマーカー 位置(X)の値を算出してください。

X=「天井高さ」一(「床から調理機 器上面までの高さ」+800 +460) 例:天井高さが2350mm、床か ら調理機器上面までの高さ が850mm、調理機器上面か

800mm の場合 X = 2350 - (850 + 800 +460)

らレンジフードまでの高さが

天井からのマーカー位置(X)は 240mm となります。 2) 吊りボルトにマジックペンなどで、

天井からXの値の位置にマーカー をつけます。 ダクトカバー(別売部品)を取り付けます。

(図4-2)

ダクトカバーに付属の座付ねじ(φ5.1×25) 4本でダクトカバーを天井面に固定します。 お願い

切り欠きのある面をレンジフードの前後方向に してください。向きを間違えると本体との固定 ができなくなります。

3 吊りボルトにナットを取り付けます。 (図 4 - 3) (図4-3) M10~12のナットおよびワッシャー (取付作業者側手配)を吊りボルトの

マーカー位置まで差し込みます。

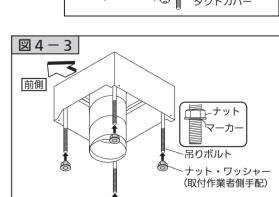


図4-4

吊り金具

座付ねじ

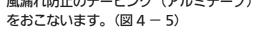
4 本体を吊りボルトに固定します。 (図4-4)

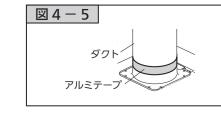
1) 取り付けたダクトカバーに本体両脇 のガイドを差し込みながら本体を持 ち上げ、4ヶ所の吊り金具に吊りボ ルトを差し込み、吊り金具を挟み込 むように吊りボルト下側から M10 ~12のワッシャーおよびナット(取 付作業者側手配)でしっかりと締め 付けます。

お願い ダクトに排気□を差し込みながら本 体を取り付けてください。

2) 「5. 電気配線」を一読してから、電 源プラグを天井裏などのコンセント に差し込みます。 ※必ず分電盤のブレーカーを「切」 にしてからおこなってください。

※アース(D種接地工事)を取り付 けます。 5 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)





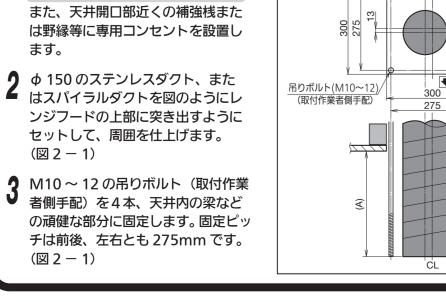
コンセント

- 本体

取り付けかたは裏面に続きます。

図2-1 事前に管工事業者(法的有資格者) 25 専用コンセント 南 **金**後側 へ天井面へのダクト穴の開口を依頼 してください。(図2-1) また、天井開口部近くの補強桟また は野縁等に専用コンセントを設置し ます。 吊りボルト(M10~12)/ (取付作業者側手配) ンジフードの上部に突き出すように セットして、周囲を仕上げます。 (図2-1)

∮ φ 150 のステンレスダクト、また



天井面からのダクトと吊りボルトの突き出し長さ(A) は、製品総高さ(範囲:600~ 760mm)により異なります。製品寸法図を参考にして、次式により算出してください。 ダクトと吊りボルトの突き出し長さ(A)=「製品総高さ」- 440



品)」、「製品取付高さ」および「天井高さ」によっ て異なります。

・はずしたねじは取り付けの際に使用しますの

整流板をはずします。

1) 整流板の左右にあるストッパーを押して はずします。(図3-1) 2) 整流板を両手で支えながらゆっくりと開 き、後ろを持ち上げて整流板吊り金具か

オイルパックをはずします。(図3-3)

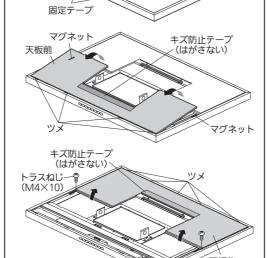
2) オイルパックの両端を持って手前に 引き、ツメからはずします。

2) ゆるめたねじ側をゆっくり

2ヶ所の固定テープをはがします。

2) 天板後を固定しているトラスねじ (M4 × 10) 2 本をはずし、ななめに 持ち上げてツメ5ヶ所をはずします。

> り付け」にて再度使用しますので、 なくさないでください。

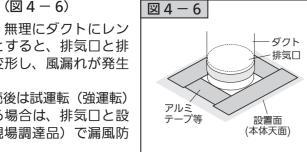


こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。 安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた(つづき)

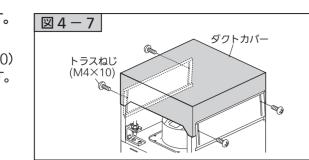
■ 排気口設置面の漏風確認のお願い(図4-6) 排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレン ジフードの排気□を接続しようとすると、排気□と排 してしまう場合があります。

気口の設置面(製品天面等)が変形し、風漏れが発生 風漏れ確認のために、ダクトと接続後は試運転(強運転) をおこなってください。漏風する場合は、排気口と設 置面の周りをアルミテープ等(現場調達品)で漏風防 止処置をおこなってください。



≰ ダクトカバーと本体を固定します。 0 (図4-7)

付属品のトラスねじ (M4×10) 4本で左右各2ヶ所を固定します。



引掛け桟

72

トラスねじ

コネクター

図4-8

7 フードを取り付けます。 1) フード後側の引掛け桟を本体後 側に引っ掛け、フードを左に寄 せます。(図4-81)

お願い

配線を挟まないようご注意く ださい。

2) フード前側を持ち上げ、ストッ パーが本体のラッチに「カチッ」 とロックされるまで持ち上げま す。(図4-82)

お願い ストッパーとラッチが確実に 引っ掛かったことを確認してく ださい。ロックが不完全なまま

作業を続けると、フード部が落 下するおそれがあります。 3) 付属品のトラスねじ (M4× 10)3本、(M5×12)4本でフー ド下側から右図の各位置を固定

します。(図4-83) 4)本体背面に付属品のフード固定金具を 図4-9 引っ掛け、トラスねじ (M4×10) 2 本で固定します。(図4-9)



正しい差し込み方

3 トラスねじ (M4×10)

8 コネクターを接続します。(図4-10) フードから出ている電気配線のコネクター 2 個 (2P および 4P) を本体のコネクター (2P および 4P)に接続します。

お願い

コネクターを挿入する際は、ツメの向きを 合わせて確実にロックしてください。接続 が不十分な場合、レンジフードが動作しな





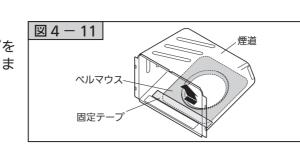


誤った差し込み方

り 天板前・天板後を取り付けます。 「こここ

「3. フード・本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順(天板後を先に取り付ける) で取り付けます。

↑ 煙道を取り付けます。 10 付属品の煙道内の固定テープを はがし、ベルマウスをはずしま す。(図4-11)

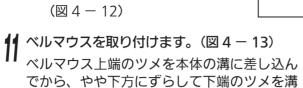


2) 煙道をフード開口部の前側(ス 図4-12 イッチ側)に沿わせるように挿入 したあと、ファン側に押し込みま す。(図4-12) ※煙道はキズをつけないよう、

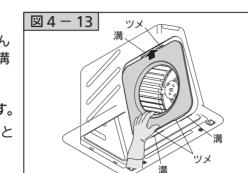
ゆっくりと差し入れてくださ い。

3) トラスねじ (M4×10) 4本で

フードに固定します。



12 煙道枠、オイルパック、整流板を取り付けます。 「3. フード・本体の準備」で取りはずしたと きと逆の手順で取り付けます。



,この位置でねじ止め

5. 電気配線

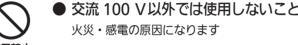
⚠ 警告

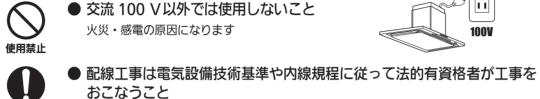


に入れます。

● 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります









誤った配線工事は感電や火災の原因になります ● アースを確実に取り付けること

故障や漏電のときに感電するおそれがあります アースを 取り付ける アースの取り付けは販売店にご相談ください

■「4.本体の取り付け」手順4の2)で以下の作業をおこないます。

1)アース(D種接地工事)を取ります。 2) 分電盤のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。

お願い

・ 電源は専用のコンセント (2 極差込接続器 15A、125V) およびブレーカーを設けてく

・「6. 試運転」までブレーカーは「入」にしないでください。

6. 試運転

<u></u> 注意



● 運転中は、指や物を絶対に入れないこと けがをするおそれがあります



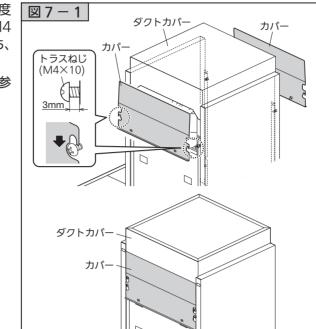
- 分電盤のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。 スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 必ず試運転をしてください。
- 運転時、各速調の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異音や振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異音がないことを確認してください。 ■ 取り付けまたは各種工事にて発生した不具合で修理を依頼されますと全て有料とな りますので十分確認してください。

7. 横ふた・前ふた・後ふた・カバーの取り付け

■ カバー2枚・横ふた2枚はそれぞれ同一品です。また、前ふたと後ふたも同一品です。 ■ 取り付けかたは「3. フード・本体の準備」の取りはずしかたを参考にしてください。

※カバーは右図のように 3mm 程度 **図7-1** 浮かせた状態のトラスねじ (M4 ×10) 2本に引っ掛けたのち、

そのねじを固定してください。 ※カバーの取付状態は右下図を参 照してください。



お願い

- 取り付ける際は、フード天板面にキズをつけないように注意して取り付けてくださ
- ・ 前ふた・後ふたの取り付けが終わったら、フード天板に貼ってあるキズ防止テープ をはがしてください(図3-5参照)。
- ※ 取付作業完了後は製品保護のため、はずした保護用フィルム(青色)をもとの状態 に取り付けてください。

8. お客様への説明

■ 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。

■ 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様にお渡しください。

[製造元] 富士工業株式会社

本社・営業部 〒 252-0206 相模原市中央区淵野辺 2 丁目 1 番 9 号 TEL 042(768)3754(営業部)